

**滋賀県教育委員会主催「シン・しが学校支援メニューフェア」にブースを出展****～「そんぽ」による安心・安全メニューをご紹介～**

日本損害保険協会近畿支部（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務取締役）では8月21日（水）に大津市のピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）で開催された「シン・しが学校支援メニューフェア」に支援団体としてブースを出展しました。

今回のメニューフェアは、コロナ禍での中止を経て5年ぶりの開催ということもあり、幼稚園・保育園、小中高の教職員、公民館・民生委員・介護職員などの地域ボランティアが多数来場し、学校や地域の教育現場で活用できる出前授業や企業・団体の支援メニューを発掘すべく、熱心に各ブースで話に聞き入っていました。

当協会近畿支部のブースでは、滋賀県内で精力的に活動いただいている防災博士の協力のもと、リスク教育の取り組みとして、「ぼうさい探検隊」や「ぼうさいダック」についてチラシやカードを用いて実践例や活用方法を紹介し、幼稚園教諭から、「ぼうさいダックの出前授業をぜひともお願いしたい」との依頼や、地域のボランティアから、「ぼうさい探検隊とコラボした地球環境を守る取り組みの実施について地域に働きかけたい」といった声をいただくなど、多くの来場者の関心を惹くことができました。

また、損害保険リテラシー向上の取り組みとして、当協会で作成した高校生向け教材「明るい未来へ TRY！～リスクと備え～」の内容について冊子や動画で紹介するとともに、講師派遣についてもPRしました。

当支部では、今後も「ぼうさい探検隊」や「ぼうさいダック」等のリスク教育プログラムの普及促進を通じた防災啓発や、損害保険リテラシーの向上のための取り組みを推進していきます。

（ご参考）当協会の各種教育メニューの詳細は、損害保険教育支援サイト「そんぽ学習ナビ」をご覧ください。  
<https://www.sonpo.or.jp/education/>



明るい未来へ TRY！について説明する様子



ぼうさいダックについて説明する様子